



## ノーモア ヒバクシャ 原水爆禁止世界大会in広島に参加しました



8月6日広島にて

65年目の8月6日を今年は広島で迎えました。原水爆禁止2010年世界大会に参加し被爆者訪問に出席。65年目にして始めて被爆体験を語った方の話を伺いました。“ノーモアヒロシマ” “ノーモアナガサキ” “ノーモアヒバクシャ” の声を世界中に。核兵器廃絶の実現を願い、被爆者の体験を紹介します。

### 被爆者の声

広島で出会った被爆者の方は自らの体験を話すのは今回が始めてだと告白。65年の間、なぜ被爆体験を話すことができなかったのか。今なぜ体験を話そうと思ったのか。その思いが胸を強く打ちました。一部紹介します。

### 65年前の夏

「私は65年間、私の身に起きた体験は決して口にしませんでした。思い出すだけで涙が止まりません。それこそ8歳のおばあちゃんになり、昨日の事も時々忘れるが、65年前、私が15歳の時のことは今でも目に焼きついていきます。あの日の地獄は忘れられません。6日は月曜日で、学徒動員が休みのだったので、私は学校に向かっていました。8時を過ぎたあたり、路面電車が私の目の前を通りました。」 裏面へ

## 表面の続き

「電車が来たなと思った瞬間、ピカッと真っ白に光り、ものすごい爆音がドーンとなりました。とっさに目と鼻を両手で押さえ地面に伏せました。しばらくして顔をあげたら、広島景色が一変です。

隣の人は焼け焦げ、私は偶然にも電車の陰で生き残りませんが、電車の中の人は吊革につかまったり、ま真っ黒になって死んでいました。私はお父さんとお母さんの事が心配になり、家に帰ろうか悩みました。戦争中は家族の心配なんてしてはいけな

い」と私を呼びとめます。

家族が心配だからと言うわけにもいかず、奉仕の心で水を探しました。

水道管が破裂し、わずかにできた水たまりを見つけ、手ですくって水を



あげました。水と言っ

ても、泥水ですが、それでも3回ぐらいあげました。

そのうちに次々と「私も水を下さい」と声をかけられました。私はどう

することもできず、振り払うように走って家に帰

りました。

あの時、何もできなかった自分は非国民だと悔み、自分だけ生き残ってしまったことが罪だと考え、気がつく

と65年間。そんな体験はとも誰かに話す気にはなれませんでした。

被爆後、しばらくすると、髪の毛が全て抜けて丸坊主に。戦争が終わって何年かしたら、私も乳

がんを発病しました。縁あって結婚して娘を授かったが、その娘も乳がんが大腸がん、甲状腺も患い、なぜか、私より病気が多いのです。また罪を重ねてしまいました。

今に、なって被爆体験の事を話そうと思ったのは、犠牲になった方への、せめてもの罪滅ぼしです。私が体験を話すことで、核兵器をなくす力になればと考えるようになり

ました。

今日は話をするために、昨日は病院で点滴を打ち、体調を整えました。平和のために。核兵器を無くすために。戦争はやめてほしい。ただ、それを願うだけです。今朝になり、

いよいよ体験を話す日になっても、これで罪滅ぼしなんて都合がよすぎるのではと葛藤していたら、

ひ孫が『おばば、がんばって』と言ってくれた。まだ何もわからないひ孫が私の背中を押してくれました。命は尊いのです。どうか、このような体験は私らを最後にして下さい」

品川に帰って  
今年の夏は貴重な話を聞きました。被爆者の声を胸に刻み、核兵器廃絶に向け決意を新たにがんばります。なかつか亮

### 無料法律相談会』のお知らせ

8月27日(金) 午後6時～8時

場所：日本共産党なかつか亮事務所

弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のことお気軽にご相談ください

電話 昼：区議控室 5742-6818

夜：事務所 3773-3231

### 品川音楽祭のお知らせ

9月5日(日) 12:30開場

荏原文化センター大ホール

主催：品川音楽祭実行委員会

今年で40回目の音楽祭。ぜひ、ご家族でお楽しみください。